

マルチチャンネル反射法探査の測線提案型公募について

独立行政法人海洋研究開発機構
研究船運航部

独立行政法人海洋研究開発機構（以下、「機構」という。）では「高精度地殻構造探査に関わる研究」を推進しており、平成 21 年度に関しては北部日本海溝域およびその東側おおよそ 500 k m の範囲、相模湾、房総沖海域を中心に調査を実施いたします。つきましては、機構所有の「かいいい」マルチチャンネル反射法地震探査システムを用いて行う構造探査航海について、当該海域での地殻構造データの取得を希望する課題を、「測線提案型」として募集いたします。採択にあたっては、以下の条件を適用いたします。

1. IODP 掘削提案が提出済み、あるいは準備中であり、必要な構造探査が終了していないこと。
2. 機構が実施する構造探査航海の枠組みの下、シップタイムが許す範囲でデータ取得を実施する。
3. 対象海域に関しては北部日本海溝域およびその東側おおよそ 500 k m の範囲、相模湾、房総沖海域を中心に調査を行う。
4. 原則として、船上基本処理データ（Near Trace Section）が提供される。
5. 複数の測線または長い測線を提案する場合には、それらの優位順位や主要計画範囲について、明確に示すこと。
6. 本「測線提案型」に、ほかの深海募集対象機器との抱き合わせ提案はしないこと。必要であれば別行動として提案すること。